

平成27年度 第1回東部地区幼稚園教員・保育士等の合同研修会

「同僚と学び合い、専門家として 育ち合うための園内研修のデザイン」

日時：平成27年5月27日（水）
場所：鳥取県福祉人材センター

◆研修講師 広島大学大学院 中坪 史典 氏



【ねらい】

保育の専門家として学び合い育ち合うための、園内研修のあり方について学ぶ。

◆講師による講義・演習

○保育者の専門性を高めるためには、学び合うことが大切。

同僚との学び合い → 感情交流を基盤に語り合う。

○園内研修における 10のポイント

①多様性を認め合う

②安心感を高める

③個別・具体的事例をもとに語り合う

⑤ことばを相互に共有する

⑦人数構成、ツール、視点などを工夫する

⑨保育者個人の強み・持ち味を探し出す

○感情交流を基盤に語り合うための工夫 → (例) 付箋の使用 (演習)

付箋の使用により・・・聞いてもらえる安心感



こことここは考え
方が似ているね。

意見の出しやすさ
他者視点に気付く
プレッシャーの軽減

このグループと
このグループの
関連性は・・・



無理なく、
楽しく、
継続的に

④感情を共有し自己を開示する

⑥明日からできることを話し合う

⑧保育者から問いが生まれ共有される

⑩園としての理想を語る



語り合う風土づくりを



【参加者の感想】

○園内研修に対するプレッシャーを軽減して、みんなが無理なく、楽しく、継続して取り組めるような園内研修をめざしたい。

○日頃からコミュニケーションを取り合い、何でも言い合える関係作りをしていきたい。

○付箋を用いた研修を実際に体験してみることで、意見の出しやすさを実感することができた。自園でも取り組んでいきたい。

○雑談の多い園ほど、一人一人の個性が活かされてチームワークもあり、よい雰囲気
の園・・・という言葉が印象的だった。

○日々の子どもたちのちょっとしたことでも、写真を撮ったり、ビデオに撮影したりして、
研修に取り入れたいと思った。

○リーダーは、積極的に意見を言うというよりも、ファシリテーターとして周りの職員の意見
を引き出すことが大きな役割だと実感した。

○園内研修で押さえておきたい「10のポイント」
の実践と、意見を可視化すること（付箋に書く等）
に取り組んでいきたい。

教育・保育の充実のためにも、
園内研修を活性化させて、保育
者の資質向上を図りましょう。

